

考えてみませんか 買い物環境について ～地域であんきに暮らせるために～

【買い物環境について】

市内では、これまで身近にあった地元の商店が、後継者不足や合理化などで閉店となる事例が増えていることから、買い物に対し何らかの支援が必要な高齢者が増えています。

さらにこの問題は、高齢者だけではなく、いずれ市民の誰もが関係してくると思われれます。もしかしたら、自分が数年後に自動車の運転ができなくなり、今まで当たり前のようにあった近くの商店も閉店となり、買い物に行きたくても行けなくなることが起こるかもしれません。そのような日が来た時に慌てても、すぐには買い物ができる環境は整いません。いざという時に備え、あんきに暮らせる環境を整える準備をしていく必要があるのではないのでしょうか。

【高齢化社会の到来について】

全国的に少子高齢化が進む中、当市の高齢化率(37.76%)は全国平均(27.4%)を大きく上回り、河合町・宮川町・神岡町の高齢化率は、すでに40%を超えています。

さらに市内の高齢者のみの世帯数は、約2,900世帯におよび、約3世帯に1世帯が高齢者のみの世帯という現状にあります。

このように、当市はひと足早く本格的な高齢化社会を迎えており、高齢者の生活に関する様々な支援が必要な状況を迎えています。

※高齢化率＝全国平均は平成29年1月1日現在
(飛騨市は平成30年1月1日現在)

※高 齢 者＝65歳以上の方

【買い物支援事業について】

市では、買い物環境を整えるために、買い物支援事業を積極的に展開し、行政と民間事業者が連携し、地域住民の課題の解決に取り組んでいます。

この特集では、市民の皆さんにこのような現状を受け止めていただき、住み慣れた地域でいつまでもあんきに暮らしていただくために、市が取り組んでいる2つの事業を紹介しています。



●移動スーパー支援事業

買い物環境を整えるために、当市でもいち早く取り組み始めた事業が移動スーパー支援事業です。移動スーパーとは、予め巡回するコースを設定し、生鮮食品(鮮魚、青果、精肉)や日用



生活物資などを自動車で販売するサービスで、自宅や近隣に週1～2回程度巡回します。このサービスは、民間事業者が主体となり、お店が近くにない地域や、お店までの外出のしづらさを感じてみえる高齢者などの日常生活の助け舟となっています。

現在市内では、神岡町の『まごころけいちゃん&よしさん』、『とくし丸(ファミリーストアさとう)』、『JAひだ』、河合町の『数下食料品店』の4つの事業者が運行しており、小規模集落をはじめ、ほぼ市内全域(一部市街地等を除く)を巡回しています。

この移動スーパーは買い物支援だけでなく、社会参加の促進にも繋がっています。複数の利用者の拠点となっている場所では、買い物しながら、世間話に花を咲かせるといった、地域の交流の場となっています。また、定期的に利用されることから、お客さんの様子の変化や何か問題が見つかれば市の地域包括支援センターや、消防署などにすぐに連絡が入る体制をとっており、行政と連携した見守り支援も兼ねています。このように移動スーパーは、高齢者の生活支援の幅広分野で大きく活躍しています。

※移動スーパーをご利用されてみたい方は左記までお問い合わせください



飛騨市×コープぎふ連携事業「地域複合サロン」実証試験全体像

(事業目的)

- ・高齢者等の買い物支援対策
- ・地域の集いの場、語らいの場の創出

地域複合サロン

飛騨市

- ・地域住民への周知
- ・公共交通機関の有効活用
- ・会場の無償提供
- ・運営スタッフ（ボランティア）の養成

連携・協同

×

コープぎふ

- ・コープぎふ商品の紹介
- ・サービス利用の説明
- ・コーヒー、お茶、菓子などの提供

宮川振興事務所×コープぎふ連携企画

実証試験「み～んなよろまいか！」の開催

- 日時： 第1回 11月15日（水） AM10:30～12:00
第2回 1月24日（水） AM10:00～
第3回 3月14日（水） 予定
- 場所： 宮川振興事務所 1Fフロア

(事業効果)

- ・コープぎふの宅配サービス利用による買い物支援対策に
- ・公共交通機関を効果的に利用し、閉じこもりの解消に
- ・サロンでおしゃべりや、催しものを楽しむことにより生きがいのもてる生活へ

●地域複合サロン事業

市では、お店が近くにない地域で買い物ができる、集い語らう場を作りだすことを目的に、市とコープぎふ（生協）が連携し、実証試験として宮川町地内で地域複合サロンを開催しています。

このサロンでは、市が地域住民への開催周知、会場の提供、お試し注文の受付などを行い、

コープぎふが、同社のコーヒー、お茶、お菓子などの無償提供や、食品の試食提供を行いながら、同社の宅配サービスの利用説明などを行っています。

今年度は、11月、1月、3月に、宮川振興事務所です「み～んなよろまいか！」を開催（予定）しています。11月には第1回目の「み～んなよろまいか！」を開催し、宮川町民18名の参加を

いただきました。コーヒーやお菓子、試食品を食べながら楽しい交流の時間を過ごされ、コープぎふの宅配サービスを利用してみたいとの声も聞かれました。

今後は、地域住民によるボランティアスタッフを中心に地域の特性を活かした催し物や、参加者のニーズを取り入れながら、地域独自のサロン運営を



市民の皆さんが住み慣れた地域でいつまでも、元気で、あんきに暮らせるように、市では民間事業者や地域の方々と連携を図りながら、市民の皆さんのニーズに応じた支援を検討しています。そして、今回紹介させていただいた買い物支援事業をはじめとする、効果的かつ実用的な支援サービスを今後にもさらに提供することを目指します。

市内には、今回紹介させていただいた市の事業の他にも、配達サービスなど、高齢者に配慮したサービスを行っている商店も多くあります。

【地域であんきに暮らせるために…】

【移動スーパー まごころ けいちゃん&よしさんからのメッセージ】

「皆さんの中で10メートルを歩くのに不便を感じる人はどれくらいいるでしょうか。スーパーが近くにあるのに行けない人がこの街にいる現実。何歳になっても楽しい買い物を、家の前で、歩くことが不自由な方は居間の窓を開けて、楽しめるようにしたのが移動スーパーです。週に1～2回、曜日と時間を決めて訪問するので、見守りもできます。訪問したら具合が悪く救急車を呼んだ事、雪またじをした事、重い灯油缶を運ぶ事もありました。ただ、商品を販売しに行くのではなく、ヘルパーさんが出来ない仕事を、誰かに頼めない事を、気軽に頼めます。移動スーパーは、家に一人でいて笑う事もない一日を、顔と顔を見て心の底から笑って会話することが出来る究極のエンターテインメントだと思います。」